

平成28年度金融庁調達改善計画の上半期自己評価結果
(対象期間:平成28年4月1日～平成28年9月30日)

平成28年11月18日
金融庁

Table with columns: 割振 (Allocation), 難易度 (Difficulty), 調達改善計画で記載した事項 (Items in procurement improvement plan), 平成28年度に開始した取組 (Initiated measures in FY28), 実施した取組内容 (Implemented measures), 目標の進捗状況 (※2) (Progress status of targets), 取組による削減額 (万円) (Reduction amount by measures), 取組の効果 (Effects of measures), 実施において明らかとなった課題等 (Issues identified during implementation), 今後の対応 (Future response).

企画係		(2)外部有識者の活用 取組の推進に当たっては行政事業レビューのための外部有識者及び金融庁契約監視委員会の外部有識者の意見を活用するものとする。	金融庁行政事業レビュー外部有識者会合(6/24)において、本計画の取組状況を外部有識者に説明。	A	-	外部有識者がチェックを実施することにより、本計画の硬直化の防止に寄与した。	-	引き続き実施する。
企画係		(3)内部監査の活用 毎年度実施している内部会計監査における監査項目として、調達改善計画の進捗状況を設定し、調達改善計画の検証や評価を行う。	四半期毎の内部監査において、本計画の進捗を検証。	A	-	本調達計画の進捗を管理することにより、硬直化の防止に寄与した。	-	引き続き実施する。
企画係		9. その他 調達改善計画に関する取組状況等については、金融庁のウェブサイトにて公表するものとする。 なお、計画の進捗状況を踏まえ、新たな取組の追加等があった場合には、調達改善計画の改定を行うものとする。	本計画に関する取組状況等について、金融庁HPIに公表。	A	-	取組状況の透明性の確保に寄与した。	-	引き続き実施する。

○その他の取組(調達改善計画に記載していない事項)

難易度 (※1)	平成28 年度に 開始し た取組	実施した取組内容	取組による 削減額 (万円)	取組の効果	実施において明らかとなった課題等	今後の対応
調達係		調達改善計画に関する取り組み状況等について、当庁のホームページに公表した。	-	取り組みに対しての透明性を確保できた。	-	引き続き実施する。
調達係						

(※1)
A+:効果的な取組
A:発展的な取組
B:標準的な取組

(※2)
A:(定量的な目標)目標達成率90%以上
(定性的な目標)計画に記載した内容を概ね実施した取組
B:(定量的な目標)目標達成率50%以上
(定性的な目標)計画に記載した内容を部分的に実施した取組、又は実施に向けて関係部局等(自府省庁内の他部局、地方支分部局、他府省庁)との調整を行った取組
C:(定量的な目標)目標達成率50%未満
(定性的な目標)何らかの理由によって計画に記載した内容が実施できなかった取組、又は計画に記載した内容の検討を開始するまでにとどまった取組

外部有識者からの意見聴取の実施状況
(対象期間:平成28年4月1日～平成28年9月30日)

外部有識者の氏名・役職【赤松 幸夫・弁護士】 意見聴取日【平成28年11月4日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
○金融庁調達改善計画の取組全体に係る取組内容、取組効果、課題等及び今後の対応について	○一者応札への対応や価格交渉によるコスト削減、新たな手法による取組み等、積極的に取り組んでいる。引き続き積極的に取り組んでいただきたい。	○今後もより効率的な改善が図られるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。

外部有識者の氏名・役職【石島 隆・法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授】 意見聴取日【平成28年11月8日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
○金融庁調達改善計画の取組全体に係る取組内容、取組効果、課題等及び今後の対応について	○きめ細かく改善に取り組んでおり、基本的なところから見直しを進めていると感じている。将来の調達に活かせるよう、案件の種類ごとに、現在までの調達の経緯やフォローアップ実績を管理していただきたい。	○将来の調達がより改善されるよう、ご意見を踏まえ、継続的に取り組んでいく。

外部有識者の氏名・役職【大村 廣・公認会計士】 意見聴取日【平成28年11月4日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
○金融庁調達改善計画の取組全体に係る取組内容、取組効果、課題等及び今後の対応について	○事後審査の実施(アンケート調査)及び改善策の実施について、引き続き着実に実行し、適切に調達の改善につなげていただきたい。	○事後審査の実施及び改善策の実施について、今後とも適切な実行に努める。

外部有識者の氏名・役職【堀江 正之・日本大学商学部教授】 意見聴取日【平成28年11月4日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
○金融庁調達改善計画の取組全体に係る取組内容、取組効果、課題等及び今後の対応について	○一者応札はまだあるようだが、競争するための環境は整っており、結果的に一者応札になっているとしても、取組みは充分に行われていると感じている。 ○「4. 重点的に取り組む分野」への取組みについては、コスト削減につながっており、高く評価できる。引き続き、前向きに取り組んでいただきたい。	○「4. 重点的に取り組む分野」を含め、今後もより効率的な改善が図られるよう、引き続き前向きに取り組んでいく。

外部有識者の氏名・役職【宮内 忍・公認会計士、税理士】 意見聴取日【平成28年11月2日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
○金融庁調達改善計画の取組全体に係る取組内容、取組効果、課題等及び今後の対応について	○システムの調達については、一者応札になってしまっているものについても、複数の者からアイデアを聞くことによって、視点が広がり、より効率的なシステム設計を行うことができるようになると考えられる。調達改善の取組みについては、今後も引き続き、取り組んでいただきたい。	○政府調達案件に該当するシステム調達については、外部有識者(CIO補佐官等)を交えて、仕様書等の適性を確認していただいているところであるが、今後できるだけ多くの者の視点・意見が得られるよう、引き続き取り組んでいく。